

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり平和通 とまと館		
所在地	札幌市白石区平和通16丁目北9-1		
自己評価作成日	平成31年3月10日	評価結果市町村受理日	平成31年4月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail.2018.022.kan=true&amp;JigyosyoCd=0170502512-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail.2018.022.kan=true&amp;JigyosyoCd=0170502512-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成31年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

橋の建設に伴い平成30年4月に現所在地に移転しましたが、ご近所の方々との協力もあり新たな環境の中、無事一年が経過しました。現在、所属する町内会と自然災害時等に当事業所を一時的な避難集合同所として活用できるよう、また、緊急時にはご町内の方々の協力を得られる様調整を行っております。  
日常的にご家族様の来訪も多く、また、春のお花見、夏の地域交流バーベキュー、冬のクリスマス会などご家族様にも参加して頂く行事を企画しており、ご家族との時間を大切に、また、ご家族様同士の交流を図る事で、職員だけではなくご家族様と共に入居者様を支える事ができるよう努めております。  
移設前より変わらずに大切にしていることは入居者様のこれからの時間をいかに過ごして頂くかという事ですが、あくまでもグループホームで出来る限りの範囲ではありますが数名の方の看取りに取り組み、大きな学びをさせて頂きました。今後もこれまでの経験を生かし皆様によりよい生活に繋げていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームみのり平和通」は、JR平和駅から徒歩で数分の札幌新道近くの住宅地に立地している。室内は台所を中心にした明るく開放感のある造りで、ユニットごとに壁やドアの配色を考慮した落ち着いた雰囲気になっている。昨年現所在地に移転し、新たな地域で近隣住民と交流を深めながら利用者一人ひとりの思いに寄り添い、明るく思いやりのあるケアを実践している。事業所で初めて地域住民を招待したバーベキュー会には、家族や近隣の子供たちなど多くの方々が参加して賑やかに交流している。また、川下公園のライラック祭りやふるさと祭り、白石神社祭りなど多くの地域行事に参加したり、以前からのドックセラピーボランティアの来訪も継続して実施しており、外部の方々と触れ合う機会を積極的に設けている。職員は、管理者との個人面談や申し送りで理念を唱和したり、掲示を見て業務の中で振り返ることで理念をしっかりと把握し、それぞれの利用者の望む、尊厳のある生活を熱心に支援している。介護計画の見直し時にセンター方式シートを更新し、利用者の様子を詳細に記録して思いを把握しながら個別の外出や食事など可能な限り意向に沿ったケアを実践している。職員は法人研修などで接遇を学び、明るい笑顔で優しく利用者に話しかけ、適切な対応を行い温もりのある家庭的な生活を支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当施設理念に『地域との交流を大切に』という言葉を組み入れ、施設内に掲示し常に確認できるようにしております。	理念に掲げる「地域との交流を大切にする」という思いを大切に、移転後も以前の理念を継続して実践に向けて取り組んでいる。管理者との面談時に確認したり申し送りして唱和することで、各職員は理念をしっかりと理解している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のふるさと祭りやバーベキューに参加したり、また子供神輿の慰問を受けたりと地域、町内会との交流を図っております。また、火災報知器に連絡先を登録させて頂き緊急時には協力頂ける様体制を整えております。	地域交流会を開催して、近隣住民とバーベキューを楽しんでいる。地域の文化祭や平和駅で開催された鉄道貨物フェスティバルに出かけている。今後は地域の保育園に働きかけて、子供たちとの継続的な交流につなげていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏に地域交流バーベキューを開催し、ご近所の方々にも多く参加して頂き施設を知って頂ける様努めております。また、自然災害時の地域の一時避難所となるよう現在準備中です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催しており、町内会の方、ご家族様に参加頂き、地域の取り組み、札幌市と地域の関わりに対し情報を頂いたり、また、活動状況の報告を行ったり、ご家族様からのご意見を直接伺える様努めております。	個人便りで開催を案内している。事業所からの報告を行い、町内会から避難場所や地域行事などの情報を得ている。移転後初の会議には前地域の町内会役員も出席して、新しい町内会役員に引き継ぎをしている。議事録は全家族に送付している。	会議案内でテーマを周知し、参加できない家族の意見も会議に活かしながら、更に充実した会議になるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政の担当者とは日頃から連絡をとり、入居者様に関する相談等させて頂いたり、適宜情報交換を行っております。	管理者は、市役所や区役所を訪問して移転に伴う届け出に関する相談やアドバイスを受けている。介護保険の手続きで保護課を訪問したり、担当者と利用者に関する情報を交換している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内に虐待防止委員会を発足し定期的に話し合いをもつと共に、職員は研修にて「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」について学び、更に他職員に報告することで身体拘束廃止に向け理解を深め、共通の意識を持ち取り組んでおります。	内部研修で、禁止の対象となる具体的な行為や拘束につながる言葉かけについて再確認している。震災時の経験を活かして、停電時のセンサーマット使用について職員間で話し合っている。玄関はオートロックになっているため、職員が同行して自由に出入りができるように支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修に参加しその概念を学ぶと共に日ごろの不安、不満を解消できるよう職員間での対話を大切にしております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業、成年後見制度について、管理者は定期的に地域の福祉関係者と連携を密にし研修等に参加しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や退去時等にはご家族様によく分かるように十分な説明を行い納得して頂いたうえで契約等行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に常時投書箱を設置しご家族様のご意見を頂いております。また、2ヶ月に1度運営推進会議を開き、直接ご家族様からの意見、要望を話し合う機会を設けております。	家族の来訪時や電話で利用者の様子を話して意見や要望を聞き取り、何かあれば個別の気付きノートに記載して職員間で情報を共有している。毎月、写真入りの個別便りで本人の近況を家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2度ホーム長との面談があり意見や提案をすることができます。また、毎月ユニットごとの会議が行われ細かい点まで話し合っております。	管理者は、普段から職員と話す機会を設けて率直な意見や提案を発信しやすい環境作りに配慮している。職員の提案を反映させて、業務担当を変更したこともある。職員はみのりの会や個別便り、行事などの係を担当している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2度人事考課がありスタッフの勤務状況等の把握をし面談を行い各スタッフの意見を聞き、つねに働く環境の改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修等を受ける機会を設けて介護の仕事の向上に日々努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は定期的に地域のグループホームとの管理者会議を設け連携を強化しお互い向上できる環境にあります。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーション、傾聴など積極的に行い各職員で情報共有をしご本人様の意見をくみ取り安心して頂ける様に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時、来訪時には、現在の状況を説明し把握して頂きご家族様と共に支え合い支援を行える様、努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「行える事」「行えない事」を把握しご本人様の負担とならない様にケア、サポートを行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様との対話を大切にし個々の能力を尊重、役割作りを考え日々の生活を送る中で寄り添い良い環境作りを心掛けております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での行事に積極的に参加して頂く等の協力を得て喜怒哀楽を共有し関係を深めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人様の来訪時には、寛いで頂ける環境作りを重視しております。また、プライバシーに配慮し居室には、懐かしんで頂ける様な環境作りを心掛けております。	知人が訪ねて来たり手紙が届く利用者もあり、職員は手紙の代筆や投函を支援している。家族と一緒に自宅に帰ったり、外食や美容院に出かける方もいる。職員と一緒に好きな物を食べに出かけることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活を共有される中で良き関係を築いて頂ける様に配慮し互いに助け合いながら状況に合致し職員が介入し支援に努めております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	手紙や年賀状のやり取りを続けており、気軽に訪れて下さるご家族様もいらっしゃいます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の表情や会話からお一人おひとりの想いをくみ取り毎月の会議、3ヶ月に1度センター方式を活用しアセスメントを行い、皆様が望まれる生活を送れる様支援しております。	会話や仕草、行動、今までの生活歴などから思いや意向を把握している。センター方式シートを活用して職員間で情報を共有している。趣味や嗜好なども具体的に記入して本人の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にアセスメントシートをご本人様とご家族様にご記入頂きこれまでの生活を維持できるよう情報の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様・ご家族様との対話により一人ひとりが持たれる趣味を生かし、好きな空間でお好みの時間を過ごして頂けるよう配慮しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ユニット会議を開催し全入居者様の現在の様子やケアについて職員全員で話し合い、よりよいケアが取り組めるよう介護計画を作成しております。	来訪時などに家族の意向や意見を聞き取り、日々のケース記録やセンター方式シートを基に職員間で話し合い、3か月ごとに介護計画を作成している。介護計画目標に沿って、利用者の変化やケア内容を日々のケース記録に記入している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録用紙にケアの状況やどのように過ごされたかを記載し状況の把握に努めております。その他月間ケース記録に日々の暮らし、変化を記録し情報の共有を図っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	週1回の訪問看護師の往診で健康状態の把握に努めております。また、シニアサポートホームで開催される行事等に参加し交流を深めたり、出張ラーメン等を活用し食事を楽しんで頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の皆様と合同でバーベキューを行い交流を深め、子供神輿等のイベントが開催される際はホームまで来てくださり皆様楽しんで頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ医(内科・歯科)の往診があり。また、ご家族様と相談のもと、眼科や耳鼻科等の受診を行っております。	殆どの方が往診を受けているが、かかりつけ医を継続している利用者もいる。家族と受診する時は健康状態をメモ書きで主治医に伝えることもある。受診記録は月間ケース記録に記入している。	



グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回訪問看護師の往診があり、状態変化等気になる事などを報告・相談し、受診の必要性の判断や助言を得ております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	円滑に行えるよう入退院時の情報共有を行い、医療機関とも情報提供しております。入院中は主に管理者が訪問し、早期退院・ホームでの生活維持が出来るよう今後の方向性について話し合いを設けております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様にとって一番良い方法・環境等も含め、当施設での重度化看取りの方針を作成し、ご家族様への説明や話し合いを行っております。入居者様の状態等、ご家族様・主治医と密に連携を取っております。	利用開始時に指針に沿って事業所として可能な対応や方針について説明し、常時医療行為が必要な時は対応が難しいことを伝えている。主治医の判断の下に家族と話し合い、希望に応じて看取りもしている。職員の看取り研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に慌てず、的確且つ速やかな対応が出来るように定期的に応急処置の研修等に参加しております。また、事故発生時の状況をカンファレンス等で話し合い、再発防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回昼間・夜間を想定しての防災訓練・地震や水害に備えての訓練もシニアサポートホームと合同で行っており、非常時持ち出し袋の常備等も整えております。また、町内会との連携も図り協力して頂ける様体制を整えております。	消防署の協力を得て夜間の火災を想定した避難訓練と日中の火災、地震を想定した自主訓練も実施している。地域との協力体制を築いているが、今年度は地域住民の参加は得られていない。備蓄品を整備し、職員は救急救命訓練を受講している。	次年度は、地域住民の協力を得た避難訓練を実施するよう期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の気持ちを尊重し、尊厳を損なわないよう丁寧な対応をし、心配り・気配り・言葉掛けを心掛けております。	呼びかけは「さん」づけとし、職員は入社時研修で接遇を学んでいる。馴れ合いの言葉になるような場合は管理者が注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様一人一人に合わせた対応が出来るよう日々の日常生活の中での会話で、希望や思いを聞き、それらを表現しやすいような環境を提供できるよう心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人のペースに合わせ、その日の体調や気持ち等に配慮しながら生活に沿った支援をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度、訪問理美容を利用して頂き、入居者様のご希望を伺いながらヘアカットをして頂いております。また、ご家族様にもご協力して頂き季節に沿った服装が出来るようしております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出前料理や外食なども取り入れ食事を楽しんで頂ける様工夫しております。食後の片づけを皆様と協力しながら行って頂いております。	本部の献立を基に食材が提供されるが、誕生日や行事の際は変更している。誕生日には寿司やケーキを提供し、行事では外食や弁当を楽しんでいる。利用者が配膳や食器拭きを手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じ食事形態、食事量の調整を行い提供し、水分・食事摂取量を毎日記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ひとり一人の能力に応じ口腔ケアの支援を行い、月2回歯科医の往診にて、口腔機能の維持に努めて参ります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人ひとりの排泄パターンをケース記録にて把握し状況に応じトイレ誘導、パット交換や清拭を行い清潔保持し、健康維持に努めております。	ケース記録に排泄状況を記録し、個々のパターンを把握している。日中は全員がトイレで排泄可能で、夜間は一部の利用者についてベッド上で排泄用品を交換している。誘導時は羞恥心に配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	皆様と共に毎日体操を行うと共に、状況に応じ乳製品の提供や医師に相談し薬の調整を行って頂き適切な排便コントロールができるよう支援しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を苦手とする方にも声掛けに配慮し、お一人おひとりのタイミングで入浴を楽しんで頂ける様支援しております。	毎日、午前午後とも入浴可能で、各利用者が週2回程度入浴できるように支援している。利用者の希望に沿って時間帯や順番を変えている。利用者ごとにお湯を替え、入浴剤を使って楽しく入浴できるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人ひとりの身体状況に応じ休息をすすめたり、安心できる様寄り添い安眠できるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月2回提携薬局の往診を受け服薬指導、情報共有を行っており、服薬時には職員間で確認の上、服薬支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の能力に応じパズルやフラワーアレンジメント教室への参加、日々の家事のお手伝いを通じこれまでの生活の継続や趣味の時間を提供できるよう支援しております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの思いを傾聴し、散歩や外食等、その時々季節に合った外出を提案、実行している。ご家族様にも毎月のお便りや通信を通して、その時の様子をお伝えしたり、外出参加の機会を設けている。	日常的に線路沿いや近くの公園を散歩しており、車いすの方も一緒に出かけている。川下公園や樹芸センターでの花見、ビール園での外食、鉄道フェスティバル見物、ライラック祭り、ふるさと祭りへの参加など外出行事が豊富である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日用品や外出の際の金銭の使用等、本人の理解を得た上で対応している。本人の理解が困難な場合は、ご家族様へ同意を得た上で金銭を使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の思いを傾聴し、電話や手紙の制限等は行っていない。当ホームからもお便り等を通して、日々の様子をお伝えしたり、面会等の協力を得ている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃を行い、入居者様が不快な思いを抱かぬ様対応している。入居者様と協同して制作した作品を飾り季節感を演出している。	共用空間は広く清潔である。居間の窓から高速道路の車の行き来を眺めることができ、台所からは食堂や居間全体を見渡すことができる。壁には花の飾りや利用者の作った貼り絵作品、みのり通信などを飾り、家庭的な雰囲気となっている。トイレや浴室にそれぞれ別の壁紙を使い、雰囲気の変化を楽しむことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー、居室共に自由に入出入り出来る様な雰囲気づくり、声掛け等し対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各個人の思い入れの写真等を飾ったり、安全で居心地の良い環境作りに徹している。	入り口に名札を飾り、分かりやすくしている。居室内は備え付けのキャビネットがあり、利用者がテレビやダンス、ベッド、時計、家族の写真などを持ち込んでいる。壁にはカレンダーや利用者の書道作品などを自由に飾っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各個人の能力に配慮し、日々の生活の上でお手伝い等していただき、やりがいを見出す様関わっている。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり平和通 めろん館		
所在地	札幌市白石区平和通16丁目北9-1		
自己評価作成日	平成31年3月16日	評価結果市町村受理日	平成31年4月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2018.022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0170502512-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2018.022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0170502512-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

橋の建設に伴い平成30年4月に現所在地に移転しましたが、ご近所の方々の協力もあり新たな環境の中、無事一年が経過しました。現在、所属する町内会と自然災害時等に当事業所を一時的な避難集合場所として活用できるよう、また、緊急時にはご町内の方々の協力を得られる様調整を行っております。日常的にご家族様の来訪も多く、また、春のお花見、夏の地域交流バーベキュー、冬のクリスマス会などご家族様にも参加して頂く行事を企画しており、ご家族との時間を大切に、また、ご家族様同士の交流を図る事で、職員だけではなくご家族様と共に入居者様を支える事ができるよう努めております。移設前より変わらずに大切にしていることは入居者様のこれからの時間をいかに過ごして頂くかという事ですが、あくまでもグループホームで出来る限りの範囲ではありますが数名の方の看取りに取り組み、大きな学びをさせて頂きました。今後もこれまでの経験を生かし皆様のよりよい生活に繋げていきたいと思っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成31年3月27日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--	--	--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念を事務所の見やすい場所に掲示し、定期的に面談を実施。内容の確認と理念に伴ったサービスの実施に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の方と情報の共有を行い、積極的に町内会行事に参加、ホーム内イベントへの招待を実施しています。地域交流バーベキューでは入居者様と沢山の近隣住民様との交流が出来ました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や季節ごとの行事を通して、ご家族様や地域住民の方に参加頂き、認知症への理解を深める機会を設けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、ホームでの活動内容の報告及び今後の活動についての話し合いを行い、サービスの向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市、白石区の研修会、連絡会に参加し双方向の情報交換を行い、実施指導を落とし込みしケアサービスの向上を行っています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内身体拘束委員会で作成したマニュアルをもとに、事業所内の委員会でも話し合い、スタッフへ報告し情報を共有。マニュアルを常時閲覧可能な状態にし実践に役立っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様、社内委員会でのマニュアルの周知と、外部研修にて学んだ内容を毎月のスタッフ会議内にて情報共有を行っています。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、権利擁護について事業所内で報告し、理解を深め活用すように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様、家族様と面談時に契約及び解約についての説明を行い、不明点・疑問点が残らないように丁寧にお答えするように努力しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時にお話を傾聴し、入居者様へのサービス提供へ繋げ、ご意見箱にて頂いた意向は、社内会議等を通し反映させております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はユニット会議や社内ネットワークにて集約した職員の意見を社内会議にて提案を行い、現場へ反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2度個人面談を行う事で、職員個人の向上心、意識の向上を図り、職場環境の整備及び条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修課による社内研修のほか、社外研修参加出来るように支援を行い職員のスキル向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隣接しているシニアサポートホームとの情報交換や他グループホームとの会議等をして得た情報を事業所内に情報共有し、入居者様へのサービスの向上を図っています。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当職員が中心となり、利用者様との会話にて生活歴を知り、ご本人様が安心して穏やかに過ごせる環境づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の事前面談やアセスメント作成に御協力頂かなかでご家族様が抱えられている不安や要望を聞き入れ、ご家族様の不安解消に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族様のお話をよく傾聴し、聞き出されたニーズの中から情報を整理しご本人様が望まれるサービスの提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のこれまでの生活歴を大切にし、日々のお手伝いや趣味活動の維持継続を支援し、ご本人様の望む生活環境を整えております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	季節毎のイベントや、入居者様の受診付き添い等、ご家族様と利用者様の絆を大切にし、一緒に利用者様を支える関係の構築に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お手紙や電話取り次ぎを行い、ご本人様が大切にしていた関係の維持継続を支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや共同で行うお手伝い、イベントを通して、入居者様が同じ時間を過ごし、支えあえる環境づくりに努めています。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もお手紙や年賀状などのやり取りを通じ、関係を継続しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での会話や行動から思いをくみ取りその人その人の要望が叶うよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様、ご家族様から情報をいただき、少しずつホームでの生活に慣れていただくよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の状態をスタッフ全員で共有できるよう、ケース記録、気づき事ファイル、申し送り等活用し、現状把握しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフがセンター方式を作成し、それをもとに毎月ユニット会議内で話し合い、必要時ご家族様、医療関係者と話し合い作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の何気ない様子、気づいた点等、情報収集しサービスの見直し、介護計画への反映に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方のニーズに応じた往診の活用、ボランティアさんの協力を仰ぎ、趣味活動支援等行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の方との運営推進会議等による情報交換から、地域のイベント等の情報を収集し、参加できるよう努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科主治医の往診が月に2回、看護師の往診が週に2回あり、本人様の馴染みの病院がある場合、可能な限り、受診できるよう努めております。		



グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回看護師の往診あり、普段の様子等、書類を作成し、それをもとに情報共有し、看護師さんとの連携を図っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時、医療機関への受診が迅速に行えるよう体制を整えております。入院時には、病院関係者、ご家族様と密に連携し早期に退院できるよう努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や看取りに関する説明を行い方針を共有し、医療機関との連携を図りながら支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に主治医とすぐに連絡がとれるよう体制を整えており、スタッフは定期的に救命講習受講し、対応方法を学んでおります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年に2回日中、夜間、災害を想定し実施。火災通報に町内会長宅を登録させて頂き、ご協力頂いています。スタッフの緊急連絡網を作成し、体制を整えております。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である事を念頭に、自尊心やプライバシーに配慮した言葉掛けや対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が気兼ねなく、常にご自分の希望を伝える事が出来る様な関係作りや、環境作りを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務主体になる事なく、入居者様を中心に考え、ひとりひとりに合わせた支援を心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節ごとに衣替えの支援を行い、気温に合わせて出来る限りご本人の意思を尊重した衣類の着用支援を行っております。また職員同行にて衣類の購入支援も行っております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合わせた行事食を提供したりご家族様をお招きし屋外でバーベキューを行うなど 食事を楽しんで頂ける様努めております。またお膳の準備や後片付けも一緒に行える様支援しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が考案した献立を提供し、食量や水分量を記録に残し入居者様の状態に応じて、刻みやトミを付け安全に食事をして頂けるように努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い入居者様によっては介助を行っております。訪問歯科との連携を図り、月2回の往診にて口腔内の清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄状況を記録し、排泄のリズムに合わせて声掛けや誘導支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足にならない様に提供したり足上げ運動に参加して頂くなどで予防に努めております。また必要に応じ医療機関に相談し下剤を処方して頂いております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様のご希望を伺い、出来る限り時間や順番の配慮を行っております。また入浴剤を利用し、楽しめる環境づくりに努めております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お疲れが見られる際は居室で横になって頂いたり、その方に合った生活リズムの見直しをし、その人に合った寝具や環境作りができるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の準備後2名で確認を行い、服薬後のチェックも別のスタッフが確認行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その日やその時の状態に合わせて、お掃除のお手伝いや洗濯物たたみ、新聞たたみ、お買い物、フラワーアレンジメント教室などに参加して頂いております。		

グループホームみのり平和通

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の公園へのお散歩やドライブ、スイーツを食べに行ったり、外食、買い物等を入居者様の希望に沿って外出を考えております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の能力に応じて所持して頂いております。また、訪問販売やお買い物に出掛けられた際に好みの物を購入出来るように支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングの電話を自由に使用して頂いております。手紙の代筆、投函等も行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、また季節・行事に合わせて装飾などを行い心地よく過ごせるように配慮行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓テーブルやソファなどを設置し、他者様と会話ができる環境やお一人でも過ごせる環境作りを心掛けております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談し、慣れ親しんだ品物を持ち込んで頂き、ご自分のお部屋だと認識して頂けるように支援行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分の洗濯物や食器拭きなど手伝い等が安全に自由に出来るよう支援しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり平和通

作成日：平成 31年 4月 5日

市町村受理日：平成 31年 4月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	移設してからの1年間はテーマを決めずに行事報告と身体拘束適正化委員会(年2回)を行っていた。参加されたご家族のみにご意見を頂いていた。	毎月発行している近況報告に次回の運営推進会議の日程を記載していたが、今後は開催内容も記載する。	参加出来ないご家族様に、来訪時など開催内容のご意見などをお聞きし、会議で報告させていただく。	1年
2	35	避難訓練を年2回行っているが、地域住民の方へのご協力までは至っていない。	町内会長に火災通報時に連動され連絡が入るように登録させて頂いているので、訓練に反映させて頂きたい。	事前に日程をお知らせし、電話連絡後に駆けつけて頂き訓練へのご協力をお願いする。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。